



でらボラ NAGOYA 通信

2019年 9月号

被災地研修報告 「泥まみれのランドセル」

安泉寺住職 野呂美道



◆仙台市、若林区、海楽寺の次男、柗人君が津波の体験談を初めて私たちに語ってくれた。

「僕は小学二年生で津波に遭いました。激しい地震の後、体育館に避難し、テラスからグラウンドを見ていました。真っ黒い太い線が海のほうから迫って来るのが見えました。大勢の人が走って避難しましたが、グラウンドの真ん中で、一組の親子が逃げ遅れてしまいました。二人はしっかりと抱き合って、そのまま津波に吞まれました。階段を昇って避難する時、僕は老人を差し置いて昇っていきました。あの時の老人は僕のせいで亡くなったのではないかと今でも自分を責める時があります。

数日して、僕は自衛隊の方に救助されました。その後、避難所で父と再会しました。父は目に涙を一杯浮かべて僕を抱きしめてくれました。その後、僕は体調を崩すことが多くなり、時々学校を休みました。

中学、高校に行き、僕はそれまでやっていたサッカーをやめました。新たな目標を持ち、今しかやれないことをやる。僕はそう決心し、この秋からカナダの高校に留学します。将来の夢はアフリカにリゾート施設を作ることです。津波の教訓から僕が学んだことを生かしたいと思ったからです。

(……ビニール袋から何かを取り出して……) これは僕が津波を受けた時に持っていたランドセルです。あとで誰かが届けてくれました。これまでは辛くて、一度も開けたことはありません。でも皆さんが僕の話を知りたいと、ここに来てくれたのをきっかけに、僕はこのランドセルを開けようと決心しました。しっかりと過去と向き合うことで、苦しみから逃げない気持ちを持つと思ったからです。そしてその気持ちを支えに未来を見つめようと思ったからです。この泥だらけのランドセルは、僕の決意の表れです。皆さん、どうもありがとう！」



柗人君は八年経った今、被災の話を私たちに心を込めて語ってくれた。彼の勇気は私たちが与えたもの、そして柗人君は私たちに大きな感動を与えてくれた。

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん(毎月12日)」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋



未来を拓く 大川小学校



◆大川小を何度も訪れているが、高橋さんのお話は今年も素晴らしかった。

「皆さん、この小学校は震災遺構として残されることが決まりました。しかし皆さん、ここは悲しみを伝えるだけの場所ではないのです。子どもたちの夢と希望を未来に発信してゆく、素晴らしい場所なのです。

どんな時にも私たちにとって一番大切な命を守り、素晴らしい人生を送って下さいと、亡くなった子供や先生たちが私たちに元気なメッセージを送り続けている大切な場所なのです。」

高橋さんのお話は生きている私たちに深く語りかけるものだった。その思いをいつも心に留めたい。そして、次の行動に活かすべきだ。現地学習はこのように自分がその場に立つことで、より強く深く納得できるものである。何年たっても決して忘れてはならないものを私たちは得た。

◆エメラルドグリーンの豊饒な女川の海。竹浦の母なる海はこの日も素晴らしかった。

小型船で沖に出て、ウミネコに餌をやる。岩場にびっしり張り付いたムール貝(しうり貝)、生きたウニを割り無心に頬張る子供達……、竹浦の人々はいつも私たちを歓待してくれる。鈴木・北目両夫婦とは7年越しの付き合いだ。ますます友情が深まるのを感じた。民生委員の鈴木誠喜さんは、私たちが若い世代を連れて研修に行くと聞いて自ら説明のグレードをアップした。奥さんの京子さんも前日はワクワクして眠れなかったと言う。この日は娘さんの洋子さんも休暇を取って対応してくれた。昨年よりも多くのメニューをこなし、豪華なランチ弁当をプレゼントしてくれた!



午後は冷房の効いた真新しい集会所で、スペインタイルの絵付けの実習も行った。生徒たちと、両夫婦、洋子さんも参加して、二枚ずつのタイルの絵付けをした。後日、焼き上げて竹浦と安泉寺に飾る予定だ。お互いの交流を形に表わす素敵な企画である。

誠喜さんは生徒が研修し、それを活かして、自分たちの地域で防災・減災活動をするという好循環の取り組みを高く評価してくれた。竹浦の海の色はスペインタイルのエメラルドグリーンそのものである

でらボラ NAGOYA 会員 募集中!

【入会資格】不要です

【会費】不要です(募金活動にご協力お願いします)

【申込方法】来月12日の「一如さん」の募金スタッフにお声かけください

【問い合わせ】mail:derabora758@gmail.com

■ 8月の募金活動では、下記の通り、支援金をお預かりいたしました。

8月12日の一如さん募金活動…33,507円

あたたかいご支援、誠にありがとうございました!